

歴代 RI 会長のプロフィール 2

1914-15年 フランク L. マルホランド

オハイオ州トレド

ロータリーの4代目会長、フランク・マルホランドは1875年に、人口800人のミシガン州ディスコで生まれました。父親はメソジスト派の牧師であり、牧師の任期は3年間と定められていたので、フランクは少年時代をいろいろな小さな町で過ごしました。

この流転の生活は彼に冒険心を植え付けました。19歳のときに、家畜運搬船に乗って大西洋横断の冒険旅行に出発し、道中いろいろな仕事に就いて生活費を稼ぎながら、自転車に乗ってヨーロッパ中を旅行しました。ギリシア文明にすっかり魅了された彼は、学生や一般の人たちの興味をひこうと、途中何回も帰国しながらギリシア芸術に関する講演のプレゼンテーションを準備するために、長期間アテネに滞在しました。

フランクは、帰国してから弁護士になろうと決心し、学費を捻出するために日中はクリーニング屋で働きながら、デトロイトの夜学に通い、最終的にミシガン大学の法学部を卒業しました。

卒業後、彼はトレドに法律事務所を開いて、市民の生活のために積極的に取り組み、商工会議所の会頭を務めたり、トレドにできた新しいロータリークラブの熱心な会員として奉仕しました。

1926年と1934年にアメリカ鉄道労働者条例の制定に関わり、第一次世界大戦中はアメリカ赤十字の団長を勤めました。赤十字に勤務中は、赤十字が積極的に戦争に取り組むように強く働きかけました。アメリカに帰国後、戦争の悲劇を強く訴え、ロータリアンや他の善意の人たちが国際理解と平和の達成に向かって活動する必要性を説きました。

1949年6月7日、常に朗らかで快活だった第4代会長は、ニューヨーク州レークプラシットのロータリー国際協議会の席上で急逝し、全世界のロータリアンと役員はショックと悲しみに包まれました。

1915-16年 アレン・アルバート

ミネソタ州ミネアポリス

科学や歴史や文学に精通したジャーナリスト、特派員、従軍記者、編集者、出版者であるアレン・ディール・アルバートは、1874年10月3日にペンシルバニア州ウィリアムSPORTで生まれました。

校長であった彼の父親は、言葉遣いに関して厳格でした。アレンは駆出しの記者を経て、特派員として幾つかのワシントンの新聞社で働きながら、ワシントンDCのコロンビア大学、現在のジョージ・ワシントン大学の法学部を卒業しました。その後、ワシントン・タイムズの編集者、オハイオのコロンブス・ニュースの編集者兼出版者になって、1911年にミネアポリス・トリビューンの編集者になり、その年にミネアポリス・ロータリークラブに入会しました。

アレンは地域社会すなわち、州の芸術や科学や市民活動に貢献し、ミネソタ司教区の高い地位に就きました。彼は、ミネソタ大学の公開講座の講師、経済学に関する多くの随筆の作者であり、アマチュアスポーツにも貢献しました。彼は社会学の名誉博士号とクリスチャン指導者としての銀十字賞を持っていました。

国際ロータリークラブ連合会の会長としての彼の最高の栄誉は、有名な従軍記者 J.A.マクガハンの記念碑に対して祝辞を捧げることでした。1898年に起こったキューバにおける米西紛争の最前線にはアレン自身があり、幾つかの主要新聞の特派員の代表として活躍しました。

アレンは、世界中のクラブの広報組織を標準化して、1945年のサンフランシスコの国連の国際会議においてロータリー派遣団のリーダーを務めました。

彼は、後の RI 会長ウォルター・ヘッドによって、「創立者のポール」、「組織作りのチェスリー」と並んで「インスピレーションのアレン」としてロータリーの歴史に名を残しましたが、1964年7月1日に逝去しました。

1916-17年 アーチ・クランプ

オハイオ州クリーブランド

ペンシルバニア州コネチカットで 1869年6月6日に生まれたアーチ・クランプは、オハイオ州クリーブランドで、彼の人生の大部分を

過ごしました。彼の母親は有名なアメリカの小説家ジェームズ・クーパーの子孫で、父親の先祖は、1771年にニューヨークに定住しました。

アーチは12歳のときに一家の暮らしを助けるために学校を退学したので、ほとんどが独学でした。彼はクリーブランド設けられた夜学に通うことによって、学力の不足を補いました。

18歳でクリーブランドのキューヤホガ製材所の雑用係の職につきましたが、すぐに昇進して、最終的には会社の会長、総支配人そして経営者になりました。また、彼は製箱会社や銀行の社長や、不動産業と汽船会社の副会長を務めました。彼はクリーブランドに留まらずオハイオ州における実業界と地域社会双方の組織でも活動し、法的な件に関する建設業者のスポークスマンの役割を果たしました。

彼の芸術的センスは素晴らしく、優れたフルート奏者として、クリーブランド・シンホニー・オーケストラで14年間も演奏する傍ら、マネージャとして活躍しました。また、彼はスポーツでも活動的でした。

ロータリーにおいては、偉大なロータリー財団になる基礎を作ったアーチ・クランプとして、最も大きな貢献をしました。1917年に、カンザスシティ・ロータリークラブからの26ドル50セントの寄付金から始めた財団基金は、今日何億ドルもの基金に成長して、外国に行って自らが選択した学問を追求する機会を全世界の学生に提供しています。

また、アーチは地区組織を構成する基礎となる、標準ロータリークラブ定款と細則の制定に関わりました。1914年、クリーブランド・ロータリークラブに入会して3年後に、アーチ・克蘭フは国際ロータリークラブ連合会の理事になり、1916年には会長に選出されました。1951年6月3日に逝去しました。

1917-18年 レスリー・ピジョン

カナダ・マニトバ州ウィニペグ

レスリー・ピジョン博士はアメリカ人以外の最初の国際ロータリー会長であり、会長になった最初の聖職者でした。そして、教会を訪れる信者と同様に、日々の生活や活動に対して深い宗教的な配慮を払って職務に当たりました。彼はまたロータリーの名前の下に集まった個々の国の同じ人間として、ロータリーの本質的な活動や人間性に、強い国際的な感覚を与えました。

レスリー・ピジョンは1873年にケベックの農場で生まれました。彼はモントリオールのクイーンズ大学と長老派の大学の双方を卒業生し、最初の任地はオンタリオ州マーカムでした。次の任地はブリティッシュ・コロンビアのバンクーバーであり、彼はそこでロータリークラブに入会して、1915年のサンフランシスコのロータリー国際大会に代表議員として参加しました。

一貫性をもった敬虔な信者として、レスリーはアメリカの統一教会を代表して、カナダのすべてのプロテスタントの宗派を統合しました。教会を統一したいという願いを適えたことで、ローマンカトリック教

会の牧師ジョン・ハンドレー神父によって、ロータリーの会長に指名されました。

雄弁家であり立派な教育家でもあったレスリーは、財政に関しても類まれな才能を持っており、ロータリーの長期財政計画に腕を振るいました。彼は、また、奉仕活動の分野を広げて、美術の活動を通じてラテンアメリカの発展に寄与しました。専門分野でも同様に熱心で、50,000 カナダ・ドル以上も調達して、カナダの公教育の研究に備えました。

会長の前任者アレン・アルバートは、「彼は大胆な船頭、奨学金に詳しい中年の牧師、初期の教会の神父のような善意と優しさを持っていました。彼はロータリーの松明を運んでいるのです。」と述べています。レスリー・ピジョンは 1946 年 2 月 1 日に逝去しました

1918-19 年 ジョン・プール

ワシントン DC、アメリカ

ロータリーの 8 代目会長ジョン・プールは、ウェスト・ヴァージニア州パーカーズバーグで生まれましたが、生後 4 カ月でワシントンに移り住んだ生粋のアメリカの首都育ちです。

彼はワシントンの公立学校に通いましたが、15 若い歳のときにアメリカ・エクスプレス社の事務員として最初の仕事に就きました。10 年間エクスプレス社に在籍後、生涯を銀行員としての道を歩むために、ワシントン融資信託会社に移りました。銀行員としての彼の出世は目

覚ましく、1913年には、新しい銀行を国内に設立し、1933年まで会長として勤めていましたが、その後投資事業会社アメリカン社を設立しました。

彼は、アメリカの銀行協会の初代会長を経て、コロンビア特別区の銀行協会会長を務めました。また、アメリカ赤十字社や YMCA などの多くの団体や公職の役員を務めると共に、コロンビア聾啞協会の熱心な後援者でもありました。地区防衛委員会の会計や、ワシントン広告クラブの会長や、5つの特別融資キャンペーンのワシントン委員長や、ワシントンのアメリカン大学の管財人受託者も務めました。

ジョンは、1912年に設立されたワシントン・ロータリークラブの創立会員であり、初代会長を務めました。国際ロータリー会長を終えた後に、再びクラブの入会委員会の委員長や理事を務めました。ジョン・プールは1940年8月17日に逝去しました。

2009年4月26日